指導者のための情報紙
URL» http://www.saitama-sports.or.jp/junior_club/
スポーツともだち仲間たち No.57
発行：公益財団法人埼玉県スポーツ協会 埼玉県スポーツ少年団　〒362-0031 上尾市東町 3-1679　スポーツ総合センター

回覧 指導者・母集団

この情報紙は各単位団へ３部配布しています。指導者・母集団に回覧しましょう。

スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会

指導者制度の改定の背景と経緯

日本スポーツ少年団では、これまで「日本スポーツ少年団指導者制度」に基づき、指導者の養成を行ってきました。具体的には、スポーツ少年団が定める養成講習会カリキュラムを修了し、検定試験に合格した者を「有資格指導者」として認定してきました。

令和２(2020)年４月より、新たな「日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程」がスタートしました。この背景には、「スポーツ基本計画」あるいは「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」等の国の施策にスポーツ少年団の名称が明記され、社会からスポーツ少年団への期待が高まっていることがあります。スポーツならびにスポーツ少年団を取り巻く環境が大きく変化する中で、自発的にスポーツに取り組む子ども達に対する責任と、スポーツ少年団の社会的な使命を果たす指導者を育成するために改定が行われました。今回の改訂では、これまでの指導者養成はスポーツ少年団が独自に行い認定していましたが、新しい制度ではJSPO（公益財団法人日本スポーツ協会）公認スポーツ指導者制度に基づき行われるため、広くスポーツ界で通用する資格を保有することにより、指導の安全・安心性の担保となり、子ども達や保護者との信頼関係構築の一助にもなると考えられます。

スタートコーチ（スポーツ少年団）

先述のとおり、新制度がスタートしたことにより、令和元(2019)年度をもってスポーツ少年団指導者資格（認定員・認定育成員）は修了しました。すでに認定員をお持ちの方は、資格移行の手続きを行うことにより、今後も「指導者」として登録を行うことができます。資格移行については、日本スポーツ協会のホームページをご確認いただくか、埼玉県スポーツ協会スポーツ少年団事務局までお問い合わせください。

これから新しくスポーツ少年団の「理念あり指導者」登録を希望される方は、「スタートコーチ（スポーツ少年団）」の資格取得が必須となります。資格の取得には、県本部または、一部市町村が開催する養成講習会を受講し、検定試験に合格することにより取得できます。〈開催日程については８ページをご参照ください〉

養成講習会は、子どもが初めてスポーツをする際の受け皿としての役割を担う上で、指導者が必要最低限身につけておくべき内容として、共通科目に加えて、専門カリキュラムが定められており、１日で行われます。

講習会では、

「スポーツの意義と価値・スポーツ少年団の理念と意義」(90分)
「安全なスポーツ環境の整備」(90分)
「指導のプロセス・ジュニア期のスポーツ指導」(90分)
「指導者の責任と役割」(60分)
「グループワーク」(90分)
「検定試験」(30分)

について学びます。従来のカリキュラムでは、講義を聞くだけの講習会でしたが、新しいカリキュラムでは「グループワーク」が導入されました。「グループワーク」では、受講生を少人数のグループに分けて、進行役を決めて、テーマにそってディスカッション（話し合い）を行います。これは、他人の意見に耳を傾けて聴くことや、出てきた意見をまとめることなど、指導者として必要な資質を養うとともに、他の方の意見や考え方を知る良い機会になります。このほかに、共通科目テキストと専門科目テキストを各自で読み込み、自宅学習をしていただきます。

知識だけを身につける講習会から、主体的・対話的で深い学びを目的とした、より実践的な講習会になりました。

スポーツくじ toto BIG
本紙はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。

母集団研修が変わりました

認定員研修がスタートコーチ養成講習会へと大幅に変更されるのに伴い、「企画広報委員会」では平成31年度より母集団研修の見直しを進めてきました。このほどその全容が確定し、今年度より実施されることとなりました。

≪改定のポイント≫

＊半日で終わる研修に
＊「参加型・体験型・交流型」のプログラムに
＊費用面の改善、募集事業数のUP

これまでは、８時間の研修であったため、丸１日もしくは、２日間の時間を拘束されるものでした。そのため、参加しづらく、多くの方の参加を期待できるものではありませんでした。「育成母集団」の存在を広く多くの方に知っていただくには、気軽に参加できる時間数にすることが必要であると考えました。午前９時～12時で実施できることを想定し、１コースの時間数を「３時間」に短縮しました。

≪「３時間」の研修内容≫

必修科目２時間と選択科目1時間で、合計3時間程度としてください。選択科目は、以下【選択科目】の中から１つ選択して実施してください。

必修科目

スポーツ少年団とは＆スポーツ少年団活動(1.0)
育成母集団の役割と活動(1.0)

選択科目

少年期のこころとからだ(1.0)
アクティブチャイルドプログラム(1.0)
ニュースポーツ(1.0)
レクリエーション実技(1.0)
野外活動のすすめ(1.0)
熱中症対策について(1.0)
かんたんにできる応急処置・テーピング(1.0)等
スポーツ少年団本来の活動を促進する内容

必修科目の「スポーツ少年団とは＆スポーツ少年団活動」「育成母集団の役割と活動」に関しては、県本部で作成した研修資料(パワーポイント)をご活用ください。

県本部で作成した研修資料は、従来の講義型ではなく、「参加型・体験型・交流型」の構成になっています。参加している皆さんが実体験をもとに考え、意見を交換し合うことで、身近で具体的な事例や一人ひとりの活動への思いを感じながらねらいに迫ることができます。また、話合いが深まるほど、グループメンバーのつながりも太くなり、研修会後の交流へと発展していくことが期待されます。この「研修後の交流」こそが、今回「参加型・体験型・交流型」の講義に切り替えた大きなねらいのひとつでもあります。母集団研修をきっかけに集まった方々が中心となって、市町村レベルの連絡会を運営していく核になっていただきたいという期待もしています。指導者の方々には市町村レベルのつながり(指導者協議会など)があり、活動も行われていますが、残念ながら、母集団の方々の活動はあまりない状況があります。日頃の団活動・団運営における悩みや相談を語りあって解決していく、解決のきっかけをつくる場は母集団の方々にこそ必要なのではないかと思っています。今回の母集団研修の変更によって、母集団研修の開催が増え、それに伴って市町村レベルの連絡会の設置数が増え、それが機能し、母集団活動が発展していくことを期待しています。

今回の研修資料は「誰にでも実施していただける」ことをコンセプトに作成しました。パワーポイントの一枚一枚に「ねらい」や「進め方」、「留意事項」など丁寧に記されていますので、活用しやすくなっていると思いますし、誰もが同じようにできるようになっています。

また、プログラムを進める方には「参加者の声」を大事にしていただきたいと思います。指導者、講師として教えるのではなく、参加者がそれを上手に活かし、組み立て、課題を解決していくファシリテーターになっていただくようお願いできればと思います。

埼玉県スポーツ少年団本部で作成した「育てようスポーツで子供の心と体」の冊子を研修後に配布します。研修の振り返り教材としてご活用いただきたい資料です。

じっくり時間を掛けて作成した研修資料・マニュアルではありますが、実践をもとに、よりよいものに改善していこうと考えております。実践報告の際に、研修資料・マニュアルに関するご意見ご感想を添えていただけると幸いです。また、選択科目で使用した資料なども添えていただけると今後、皆さんで共有できるようにしていきたいと思います。

リーダー育成事業

～このほどリーダー育成補助事業計画マニュアルを作成～

【リーダーとは】

日本スポーツ少年団では、各単位スポーツ少年団の活動における団員のまとめ役や、指導者と協力してチームを育てていく役割などを担う「リーダー」を育成しています。将来のスポーツ少年団指導者を育成することを目的に、日本スポーツ少年団独自の資格である「ジュニア・リーダー」、「シニア・リーダー」を認定しています。

「ジュニア・リーダー」は、小学５年生～中学生の団員を対象とし、各単位団において指導者と団員をつなぎ、団員の中で中心となって活動することを目的にしています。

「シニア・リーダー」は、高校生～大学生年代の団員を対象とし、ジュニア・リーダーが担う役割に加え、市町村や都道府県においても活動し、地域の中で中心的に活動することを目的にしています。

【シニア・リーダースクール】

リーダーの資質向上を図るとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として「シニア・リーダースクール」を日本スポーツ少年団が開催しています。シニア・リーダースクールの修了者には、「日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程」に基づき、日本スポーツ少年団が「シニア・リーダー」として認定します。また、18歳以上のシニア・リーダー資格の認定から４年以内に都道府県スポーツ少年団が推薦し、日本スポーツ少年団が承認した人は、JSPO公認スタートコーチ（スポーツ少年団）の養成講習会の受講を免除することができます。

【ジュニア・リーダースクール】

リーダーの資質向上を図るとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として「ジュニア・リーダースクール」を日本スポーツ少年団および都道府県スポーツ少年団が開催しています。ジュニア・リーダースクールの修了者は、日本スポーツ少年団が「ジュニア・リーダー」として認定します。

【埼玉県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール】

埼玉県スポーツ少年団では、中学生団員を対象にジュニア・リーダースクールを毎年８月に開催しています。２泊３日の宿泊研修形式でスポーツ総合センターにて行います。スクーリングの内容は、スポーツ少年団やリーダーとして活動する上で必要な知識や技能に関する講義のほか、スポーツ･レクリエーション活動、グループワークなどスポーツ少年団活動のみならず、学校生活や日常生活でも役に立つ内容となっています。また、宿泊研修のため、基本的生活習慣を身につけ、規範意識を醸成するプログラムとなっていますので、多くの参加をお待ちしています。

リーダー育成補助事業

県本部開催のジュニア・リーダースクールは、スクーリングの内容を考慮し、より効果的なスクーリングを行うために参加対象を中学生としています。小学校を卒業と同時に「卒団」をさせてしまう単位団が多いためか、スクーリングの参加者は年々減少し、特定の市町村からしか参加者が集まらないこと等が課題となっております。

スポーツ少年団では、小学５年生からジュニア・リーダーの対象としています。そこで、県本部としましては、活動基盤であります各市町村本部におきまして「地域に根ざしたリーダー育成」にご協力をいただきたいと考え、市町村開催のリーダー育成事業に補助を行っております。補助要件や事業を計画する際の留意事項、プログラムの計画方法、講師の派遣等を記載した、「埼玉県スポーツ少年団リーダー育成補助事業計画マニュアル」を令和３年１月に作成しました。また、１事業でも多く開催していただけるよう、補助要件の緩和も行いました。各市町村でのジュニア・リーダースクール開催にご協力いただけると幸いです。マニュアルの入手につきましては、埼玉県スポーツ少年団事務局までお問い合わせください。

「with コロナ」における アクティブチャイルドプログラム

＜アクティブチャイルドプログラムとは＞

アクティブチャイルドプログラム（以下、ACP）は日本スポーツ協会が作成した楽しみながらからだを動かすためのプログラムです。

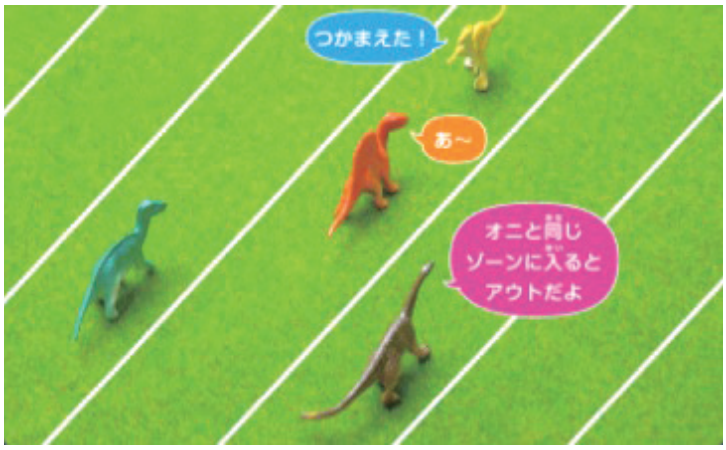
からだを動かす遊びは、将来的にスポーツが好きになる基礎を育み、健康や体力、社会性を身につけることにもつながります。

＜「with コロナ」におけるACP＞

新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ少年団の活動においても様々な制約がされるようになってから１年以上が経過しています。そうした中で日本スポーツ協会はソーシャルディスタンスを保ちながら楽しくACPを取り入れた活動を推進しています。

「with コロナ」を踏まえて、日本スポーツ協会より2020年９月に発行された「ソーシャルディスタンス遊び」からいくつかのプログラムをご紹介いたします。

【ジャンプオニ】



①50cm ～１mの間隔（ゾーン）で、ラインをかきます。

②子とオニは、両足ジャンプでゾーンを移動します。いくつかのゾーンをまたいでジャンプすることもできます。

③オニと同じゾーンに入った子の負けです。

☆ラインの間隔（ゾーン）が狭いとジャンプしやすいので、低学年向きです。広いと高学年向きです。
オニの数を増やすと難しくなります。

【腕立てじゃんけん】

①腕立て伏せの姿勢で、距離をあけて向かい合います。

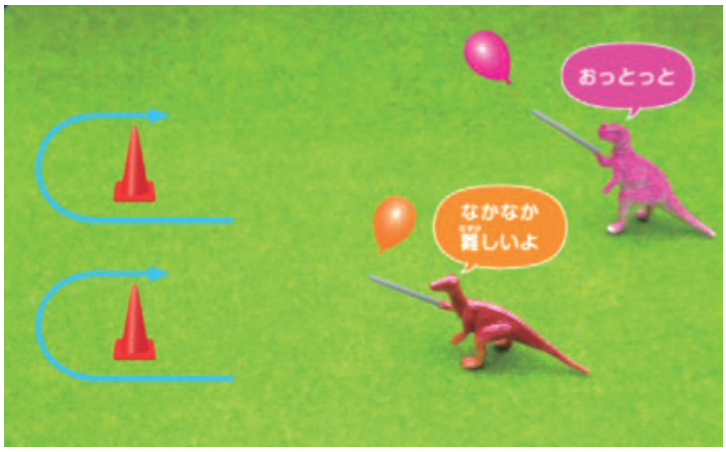
②声でじゃんけんをします。

③負けたら、姿勢をキープしながら１周周ります。

④腕立て伏せの姿勢をキープできなくなったら負けです。

☆顔じゃんけんや、片手でじゃんけんをするルールにしてみたり、３人以上で一緒に遊んだりしても楽しいです。

【風船＆棒リレー】



①新聞紙を筒状（棒）にします。

②棒を使って、風船を落とさないように移動します。

③バトンパスの時は、手を使わずに風船を次の子に渡します。

④早く全員がゴールしたチームの勝ちです。

☆慣れるまでは、リフティングのように棒で風船を何回突けるか競っても楽しいです。

【ペットボトル・ボウリング】

①水を入れたペットボトルを立てておきます。

②ラインを決めて、そこからボールを転がしてペットボトルを倒します。

③ペットボトルを多く倒した子の勝ちです。

☆１回勝負ではなく、５回ボールを転がして何本のペットボトルを倒せるか競い合うと盛り上がります。ペットボトルの大きさで点数を変えたり、投げるボールのサイズを変えたりすると楽しいです。

≪参考文献：公益財団法人日本スポーツ協会発行「ソーシャルディスタンス遊び」より一部抜粋≫

本部員会・代議員会報告

令和３年度の本部員会・代議員会が開催されました。

1　第１回本部員会　令和３年５月22日(土) 14時～

スポーツ総合センター会議室・オンライン併用

出席：20名(対面：５名・オンライン：15名)

委任：７名　　欠席：４名　　本部員総数：31名

今回は、本部員会としては、新しい試みとして対面・オンライン併用の形で会議を開催いたしました。

冒頭、尾崎本部長から「スポーツ少年団の現状は大変厳しいものであり、なかなか思うように活動できていない団が多くあります。スポーツをする環境が厳しい中でも、なんとか子どもたちにスポーツをする機会を与えていきたい」とのあいさつがありました。その後、議事に移り以下の通り、報告事項５点、協議事項７点が慎重審議され全事項承認されました。

【報告事項】

①令和２年度事業報告並びに決算について
- 種目別大会　７種目10大会のみ実施
- 国内交流大会派遣事業　中止
- 指導者現地研修会がオンラインでの実施
- 決算において補助事業を始め各種事業において未執行があった

②第48回日独スポーツ少年団同時交流について
- 受け入れ／中止、派遣／オンライン交流での実施

③日独スポーツ少年団ユースキャンプについて
- 実施形態をオンライン交流に変更

④日本スポーツ少年団顕彰について

⑤各専門委員会報告

【協議事項】

①埼玉県スポーツ少年団特別交付金について
- 未執行の資金を各市町村に配分する
  〈市町村一律１万円＋登録者１名100円〉

②令和３年度種目別部会運営費配分について
- 未執行の資金を種目別部会に比例配分する

③埼玉県スポーツ少年団種目別部会運営費等補助金交付要綱について

④創立60周年記念事業の展開について
- 令和４年度に創立60周年記念事業を展開する

⑤ジュニアリーダースクール開催要項(案)について
- 令和３年８月20日～22日(２泊３日)にスポーツ総合センターで開催する(なお、第２回本部員会で、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、８月21日、22日の２日間、日帰りでの開催となりました。)

⑥部活動改革プロジェクトについて
- 令和５年度から「休日の部活動の段階的な地域移行」が全国展開される予定であり、この改革によりスポーツ少年団も部活動の地域の受け皿としての存在を求められる。これに伴い、部活動改革の制度研究、準備項目を検討するワーキンググループを設置する。

《ワーキンググループ・メンバー》

【副本部長】
関根　　剛　氏　　長谷川　司　氏

【活動交流委員会】
安部　正幸　氏　　井上　　隆　氏

【企画広報委員会】
島野　博臣　氏　　富田　卓弥　氏

【指導者・リーダー育成委員会】
中野　孝行　氏　　江田　哲也　氏

2　代議員会(書面決議)

代議員会は５月22日(土)に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国並びに埼玉県の方針に従い、開催を見送り、書面決議になりました。

定足数：63　　有効回答数：60　　全事項承認

【協議事項】

①令和２年度埼玉県スポーツ少年団事業報告について
- 登録状況は、団数・指導者・団員ともに減少

②令和２年度埼玉県スポーツ少年団決算報告について

③令和３年度埼玉県スポーツ少年団事業計画について
- 今年度から育成母集団研修事業、リーダー育成事業等補助事業の内容が一部変更

④令和３年度埼玉県スポーツ少年団予算について

⑤埼玉県スポーツ少年団特別交付金について

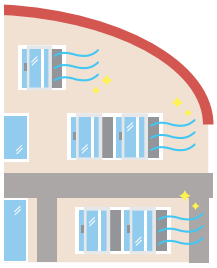
安全で楽しい少年団活動を

■ 熱中症に注意！

◇熱中症は「屋外で起こること」と思っていませんか？

＊体育館などの屋内施設では室温や湿度により熱中症が起こる可能性がありますので、十分な注意が必要です。

＊体育館等で活動する際、エアコン等の設備がない場合は扇風機の使用や窓を開けて室温を下げることが大切です。特に定期的な換気は、コロナ感染防止対策の観点からも重要ですので、しっかり対応しましょう。



＊暑さ指数WBGTが31℃（乾球温度35℃、湿球温度27℃）以上は活動中止です。熱中症を防ぐ一つの対応策として「熱中症計」を備えておくことも大切です。

＊新型コロナウイルス感染防止対策によりマスクを着用して活動する場合は、体温を下げにくくなって熱中症になりやすくなるため、息苦しさを感じたらすぐにマスクを外すよう注意しましょう。

＊喉の渇きを感じる前に水分を摂ることが大切です。活動中は汗とともに塩分が失われます。そのため、塩分を含んだ飲物（スポーツドリンクなど）を少しずつこまめに摂るようにしましょう。

■ 活動前の用具の点検を！

各利用施設に備え付けや保管されている備品及び用具は基本的に共用です。破損しないよう大切に使うことが必要です。また、団員や指導者等がケガなどの事故に遭わないようにするためにも、活動前に各種用具の取り扱い方法や使用手順を確認・点検作業をしっかりと行うことが重要です。

＊特に、バスケットボールゴールやサッカーゴールを移動して使用する場合は、固定されていることを複数の指導者で確認したうえで活動を開始しましょう。なお、移動する際は、事故を防ぐため団員任せにせず必ず指導者が立ち合い、事前に作業者の配置やタイミングなどの要領を説明・確認することが必要です。

■ 駐車場からの移動に注意！

◇駐車場内ではほかの車に注意！

大きな施設を利用する場合、ほかの団体の車や人の移動が多くあります。自分たちの安全やほかの団体への迷惑にならないよう節度ある行動をとることが大切です。

■ 施設利用規則の順守を！

＊最近のテレビCMなどでバスケットボールゴールへのシュートシーンで、シュート後にリングにぶら下がる様子が見受けられます。その影響を受けて真似をしようとする団員もいるのではないかと推測されます。普段、団活動で使用している施設の設備では、学校の移動式のものを含めて強度不足で倒れてけがをする危険性がありますので、どのような場所においてもその行為自体を絶対に行わないよう注意をしてください。

＊利用許可を得て活動している場合、指定された場所以外には立ち入らないよう伝えておくことが大切です。〈以前、施設内に設置されていた消火器を誤って噴出させてしまったなどの事例があります〉

■ 自然災害時の対応策の事前確認を！

近年、地震・台風・豪雨・高温・竜巻・雷・大雪・ウイルス性疾患（コロナ感染症等）など様々な自然災害が発生しています。こうした状況に鑑み、埼玉県スポーツ少年団では昨年、活動中に自然災害が発生した際に団員・指導者を守るための対応基準「自然災害時における安全ガイドライン」を策定しました。

万が一、活動中に前述のような自然災害が発生した場合に「ガイドライン」をもとに適切な判断ができるよう、常時確認しておくことが重要です。

なお、活動場所や活動規模、災害規模等により諸条件が異なることから、この「ガイドライン」は一般的な基準として扱い、最終的な判断は現地の当該関係機関・団体に委ねることになっています。また、国・県・市町村や使用施設等に基準があればそれに従うことになっています。

＊各種警報、避難勧告等の発令が予想される場合は、事前に活動を中止することが望ましいとされています。

＊災害発生時の安全確保と情報の収集方法を事前に検討することや保護者との約束事などをあらかじめ決めておくことが重要です。

公益財団法人埼玉県スポーツ協会　キャッチフレーズ

まず参加　たのしくスポーツ　みんなが主役

令和３年度スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会 埼玉県内開催日程一覧

※７月13日現在。変更があり次第、更新します。

No.	開催市町村	期　日	実施形態	場　　所	募集予定人数	受講料（税込）	受付状況
1	県　本　部	2021年９月12日	対面	スポーツ総合センター	50名	4,400円	受付終了
2	さいたま市１	2021年９月19日	対面	ときわ会館	60名	3,000円	受付前
3	さいたま市２	2021年11月28日	対面	ときわ会館	60名	3,000円	受付前
4	川 口 市 １	2022年１月15日	対面	川口市立西スポーツセンター	60名	4,000円	受付前
5	川 口 市 ２	2022年２月５日	対面	川口市立西スポーツセンター	60名	4,000円	受付前
6	加　須　市	2021年８月８日	対面	加須市民体育館　卓球室	36名	2,000円	受付終了
7	鴻　巣　市	2022年１月22日	対面	鴻巣市川里農業研修センター	50名	4,500円	受付前
8	東 松 山 市	2022年１月30日	対面	松山市民活動センター	30名	5,000円	受付前
9	三　郷　市	2021年９月12日	対面	三郷市東和東地区文化センター	30名	4,000円	受付中
10	久　喜　市	2021年２月13日	対面	ふれあいセンター久喜	50名	5,000円	受付前
11	所　沢　市	2021年12月12日	対面	所沢市民体育館	40名	5,000円	受付前
12	戸　田　市	2021年11月28日	対面	戸田市文化会館	50名	4,400円	受付前
13	白　岡　市	2022年２月	対面	はぴすしらおか	50名	4,500円	受付前
14	熊　谷　市	2021年11月27日	対面	熊谷市立大里コミュニティセンター	20名	5,700円	受付前
15	川　越　市	2022年２月	対面	調整中	30名	3,300 ～ 4,400円	受付前
16	春 日 部 市	2021年12月５日	対面	総合体育館	50名	3,300円	受付前

※NO. 2-３のさいたま市、NO. ６加須市、NO. ９三郷市、NO.16春日部市は市内登録者のみの募集となります。
※各コースの詳細は日本スポーツ協会指導者マイページよりご確認いただけます。
※各コースの詳細は開催日の２か月前を目安として指導者マイページで公開予定です。
※講習会へのお申込みも日本スポーツ協会指導者マイページよりお願いいたします。
※指導者マイページの作成方法は「指導者マイページの取得の流れについて」からご確認ください。

編集後記

コロナ禍における団活動は、大変厳しい状況下にあります。団運営に当たっては対外試合が思うように出来ないとの声が聞こえてきます。そこでこの時期にスポーツ少年団の理念を再確認され、試合と練習だけではなく、情報紙で連載されているACPなど、さまざまな活動を取り入れた魅力ある団活動を子どもたちに提供してみてはいかがでしょうか。

埼玉県スポーツ少年団　企画広報委員会
TEL：048-779-5895　FAX：048-774-5550
E-mail：saitamaken@japan-sports.or.jp

www.toto-dream.com　www.toto-growing.com　19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター